



病状に応じた病院の役割について



入院したばかりなのに
どうして、先生や看護師は
転院の話をするのだろうか？
まだ退院なんて無理だよ。

最近、ひとつの病院で専門的な治療からリハビリテーション、長期療養まで行う施設は少なくなりました。なぜかという、病院の機能がより得意分野に重点的に力を入れるように分かれてきたからです。そのため、患者さんの状況に応じて「病院を移る（転院）」というしくみになっているのです。

病院（病床）の種類と機能（一部抜粋）

病院（病床）の種類	特徴	病気の状態
一般病棟（病床）	一般的には、内科・外科・整形外科等の混合病棟で、病気やケガをされた方が入院治療する急性期疾患の治療、回復を目的とした病棟です。	急性期
地域包括ケア病棟	一定期間の療養とリハビリテーションなどを行い、在宅へつなぐ病棟です。在宅や介護施設で療養している人の入院、急性期の治療を終えた人の継続的治療や日常生活への復帰やリハビリテーション、在宅復帰の支援が行われます。	回復期
回復期リハビリテーション病棟	リハビリテーションを集中的に行い、自宅退院と社会復帰を目指す病棟です。脳卒中の方など、発症早期から歩行や排泄など日常生活動作の向上、社会復帰を目的としたリハビリテーションを限られた期間で集中的に行います。	回復期
療養病棟 （医療療養病床）	医学的管理のもとで介護や療養を長期に行う病棟です。急性期治療が終了し、病状は安定しているが、継続した医学的管理・処置が必要な方に医療と看護、介護が合わせて提供されます。比較的長期にわたり療養することができます。	慢性期
緩和ケア病棟	痛みやつらさを和らげるケアを行う病棟です。主にがんによる身体的な痛みや精神的な不安、心理・社会的、スピリチュアルな痛みを和らげ、穏やかに過ごすための病棟です。治癒を目的とした積極的な治療は行いません。	専門的緩和ケアを必要とする時期

埼玉県立循環器・呼吸器病センターは、急性期治療に力を入れている病院です。

【地域医療機関との役割分担について】



私は循環器・呼吸器病センターですっとみてほしいんですが、先生が「病状が安定したから地域の病院かクリニックへ紹介しますね。」というんだよ。なんか追い出される感じがするな。どうしてここじゃだめなんだ。

当センターは地域医療支援病院として、急性期病院の役割を持ち、かかりつけ医と連携・協力して、病気の早期安定化に向け高度な検査や専門的治療を提供することを目的としております。

また、当センターは地域医療機関との役割分担に取り組んでいます。当院での治療が終了し、病状が安定した方の診療は、紹介元または近隣の医療機関等においてしております。

地域のクリニック・病院の専門性による連携のイメージ



記載の内容は、2024年1月の情報に基づいています。今後の制度等の改定により内容に変更が生じる可能性がありますのでご了承ください。

埼玉県立循環器・呼吸器病センター
患者サポートセンター